

<研究ノート>

つくば市の観光資源調査

岩田 隆一*

A Survey on Historical, Cultural and Natural Resources in the City of Tsukuba

IWATA Ryuichi *

Tsukuba Gakuin University and City of Tsukuba has a agreement in which the University cooperates in the tourism development of the city. The city has been enjoying the larger number of the visitors of three millions in 2007 than any other cities and towns in Ibaraki Prefecture thanks partly to the inauguration of Tsukuba Express Rail - the new railway which made Tsukuba closer to Tokyo only for 45 minute-ride.

The Tsukuba Mountain is a popular tourist destination, to which some 80% of the visitors to the City of Tsukuba head for. Consequently congestion of access roads to the mountain on weekends has come to a headache to the city. The city hall came up with the idea that they diverted the stream of tourists to villages and towns located in the outskirts of the mountain. They have rich historical and cultural assets, which are well known yet. The university agreed to help the city make the database of the historical and cultural sites located in Tsukuba, succeeding in listing 139 sites. The database is to be translated into English, Chinese and Korean.

In the second stage, we will make a leaflet to introduce the historical assets Tsukuba City has so that all the residents can feel familiar with the history of the town they live in. All the works are translated into English, Chinese and Korean because there are some 7000 foreign residents in the city. We would like them to enjoy their lives here in Tsukuba as same as the Japanese residents do.

1. 「つくば市の観光資源調査」の開始理由

本学（筑波学院大学）の所在地である茨城県つくば市は人口20万人の中都市規模の地方都市であるが、将来も人口増加が期待されている全国でも数少ない地方自治体である。つくば市は未来構想の中で研究学園都市として

の開発計画と合わせて、筑波山とその麓の自然を生かした観光開発を重要な政策としている。つくば市は筑波山を中心とした歴史と自然に恵まれた関東有数の観光資源と国や民間企業の研究機関が計画的に集められた先進的研究学園都市という二面性を持ち、茨城県でも有数の入込数と宿泊数を誇っている。平成18年つくば市は安倍内閣により地域再生法に

* 情報コミュニケーション学部国際交流学科、Tsukuba Gakuin University

基づき地域再生計画「観光立市つくば」が認定された。

本学（筑波学院大学）は学校法人東京家政学院を母体として平成9年に設立された東京家政学院筑波女子短期大学と筑波女子大学が平成17年に男女共学に改組された大学である。東京家政学院の創立者である大江スミ先生の知力と技術を重視した実践教育に加え、筑波女子大学が茨城県及びつくば市の協力のもとに開設されたという経緯から地域社会へ貢献できる有為な人材を育成することを本学の建学の理念の一つとしている。

本学は地域社会貢献の一環としてつくば市との協定により、つくば市の観光促進のために①コンピュータ・グラフィックスによる有名観光資源の3D化を進める（初年度は筑波山神社社殿を完成させた）。②つくば市内にある観光資源のデータベースを作成する。③ボランティア・ガイドの養成プログラムを開発する。本学内の役割分担は吉田真澄学部長が①のコンピュータ・グラフィックスの技術開発を指導し、情報メディア学科3年生が担当する。②③については本稿執筆者である岩田が指導し、国際交流学科3年生が担当することになった。

2. 発展科目「旅行ビジネスの業務」

この地域貢献プログラムに学生が参加することによって学生の観光情報の提供方法を自ら体験し地域文化への理解を深め、つくば市の地域文化資源データベースを作成し、そしてつくばの地域文化紹介の冊子を作成し、地域社会に貢献することを第一の目的としている。

第二の目的は「サービス経済」の体験である。3年生の専門科目である「旅行ビジネスの業務」は「旅行ビジネス」という名前が入っているが、旅行ビジネスの実務的なことは授業で取り上げていない。本授業は旅行と

いうものを広くサービスの一つとして捉え、「目に見えない」というサービス商品が持つ欠点の「見える化」を進めるにはどのような工夫をすべきかを学生に考えさせる手段として、「地元の観光資源」を題材として取り上げ、どのような説明をすれば旅行者にその観光資源の価値を理解してもらい、どうしたら訪問動機を与えられるかをフィールドワークを通して学生に考えさせることを目的としている。

学生は担当する資源のデータを可能な限り収集し、情報を分かり易く簡潔な文章でまとめる。この文書指導には元旅行雑誌編集長で非常勤講師をお願いしている沓掛博光先生に行っていただいている。サービスの「見える化」に最も効果的である写真の撮影技術と画像処理の基本指導を写真家の川口正之先生をお願いしている。卒業後多くの学生は旅行業界以外に就職するケースが多く、かつサービス業に就職する可能性が高いので、どこに就職しても授業で学習したことが役立つように最大公約数的な授業内容にしている。

このような目的で、国際交流学科3年生の発展科目（専門科目として卒業研究につながる）として、著者は「旅行ビジネスの業務」という講座を立ち上げた。この「旅行ビジネスの業務」の授業はフィールドワークを重視した実践形式の授業を特徴としている。本授業は筑波女子大学から男女共学の筑波学院大学に入学した1年生が3年生に進級するのを待って2007年4月に開始した。本授業の開始に当たり筆者は3年計画を立てた。

1年目はつくば市内の観光資源のデータベース化。2年目はこのデータベースを基に観光案内書の作成を行う。3年目は歴史的な文化遺産で観光的な価値を持つ資源をピックアップし、詳しい説明文を作成する。この「つくば歴史文化資源案内」はつくば市在住の外国人にもつくばの歴史的文化的資源を紹介することを意識した内容にしている。

表1 「旅行ビジネスの業務」の3年計画

1年目（2007年度）	①つくば市内の観光資源のデータベース作りのための情報収集 ②データベースのプロトタイプ作成 比較的知名度の高い観光資源（筑波山神社、中央公園内のエキスポセンターなど）のデータベース作りを開始する。
2年目（2008年度）	③データベースの日本語版完成 ④データベースの英語版、中国語版、韓国語版制作開始 ⑤新しい企画として「歴史地区の観光案内書」を作成する。 ⑥韓国語、中国語、英語への翻訳を進める。 ⑦データベースをインターネットで公開する。
3年目（2009年度）	⑧「つくばの文化資源案内」制作開始 ⑨観光ガイド養成プログラム開発

初年度（2007年）に開始した「観光資源データベース」と3年目に予定している歴史・文化・観光案内書である「つくばの文化資源案内」は日本語のほかに「英語」「中国語」「韓国語」の多言語による案内を行う予定である。つくば市には130ヶ国から7,000人（平成19年 つくば市役所）の外国人が居住している。研究機関等で働いている研究者とその家族も多い。人口21万人の地方都市には不釣り合いなほどの大きな外国人コミュニティが存在しているが、彼らに一時的にでも滞在している「つくば」の歴史的文化的側面に興味を持ってもらい、外国人コミュニティとつくば市民との交流を深めることを目的としている。

Cambridge Tourist Information Centre（英国ケンブリッジ市）はケンブリッジ在住者を訪ねて来た親戚友人等を重要な顧客ととらえている。現代社会は移動性が高く、特に大学や研究機関を中心に設立された都市の住人の多くはいわゆる一時的滞在者である。数年間の一定の年限をその街で過ごしたら、多くは母国へ帰国するか、就職のために引っ越してゆく。そして研究者の多くは滞在中は調査研究に忙殺されていることが多い。知人や親戚が尋ねてきても、十分に市内や郊外の観光地を案内することが困難なことが多い。また住民だからといって市内にある史跡や文化遺産を

訪問者に十分説明することは困難と思われる。英国ケンブリッジ市観光案内所は、たとえ住民であっても、市内にある観光資源について十分な知識とそれらを訪問者（親戚や知人）に説明することは難しいので、「市内を知人に案内するために必要な情報は観光案内所にあります。観光案内所を利用してください」と市役所のホームページで行っている。

3. つくば市の観光事情と観光政策

つくば市は茨城県ではもっとも観光客の多い街である。つくば市役所経済部観光物産課の調査によると。毎年300万人を越える人々がつくば市を訪れているが、その約8割は筑波山を目指す旅行者である。2番目がエキスポセンターで約7%の20万人が訪れる。旅行者のほぼ90%は上記2箇所に集中している。だから最大の問題は観光客が筑波山へ集中することである。週末や祝日は筑波山への公共交通機関がバスしかないこともあり、筑波山へのアクセス道路は毎回自家用車で大渋滞を引き起こしている。つくば市ではこの渋滞を解消するために、観光客の訪問地域の拡大と分散化を図るために、二つの対策を行っている。

つくば市は筑波山への観光客の一極集中の解消策の一つとして、市内に点在する約300

の研究施設の一般公開を進め、約70箇所が門戸を開放し、2006年度には60万人が訪れたといわれている。もうひとつは筑波山周辺の観光資源の紹介を進め、訪問者の分散化を解消しようとしている。

平成18年につくば市は内閣府より「観光立市」の認定を受けた。観光立市の基本計画の中核になっているのが、筑波山とその周辺地域の観光資源開発と新都市圏に点在する研究施設の一般公開などを通して新しい観光資源として開発を目指すものである。つくば市の筑波山とその山麓地域の開発計画は下記のと

おりである。

4. 観光資源データベース作り

1年目の私たちはまず既に配布されている観光案内書などをつくば総合案内所等で入手した。案内書、リーフレット、チラシ、地図など可能な限り収集した。同時につくば市役所、つくば観光協会、つくばコンベンション・ビューロー、商工会議所などのホームページを調べた。これらの作業を通して、どのような場所や資源が観光資源として紹介さ

表2 つくば市への入込者数と宿泊者数（つくば市）

	平成16年	平成17年※	平成18年	平成19年
入込者数（万人）	328	361	343	303
宿泊者数（万人）	28.5	40.2	29.8	49.4

※平成17年8月につくばエクスプレス開通

表3-1 つくば市の観光開発（概要）

観光資源・地域	主な発計画
筑波山	①ケーブルカーと登山鉄道駅周辺の整備 ②筑波山頂・中腹の主な観光施設の充実
筑波山周辺	③山麓の神郡、北条、平沢、小田地区の歴史文化遺産と田園資源の活用 ④「里」のイメージの創出 ⑤山麓地域と筑波山を結ぶ導線の充実 ⑥観光スポット・拠点づくり（ビジター・センターのような施設）

資料：筑波山周辺観光整備基本構想（つくば市）

表3-2 具体的な施策

①山麓の各地域の回遊性の向上 ②リピーターを増やすためのイベント実施 ③きめ細やかな観光情報の発信 ④地域ボランティアの養成（受け入れ側のホスピタリティー豊かな人材の育成） ⑤統一デザインサイン（案内板） ⑥広報・情報発信活動の充実 ⑦イベントを開催する。
--

資料：筑波山周辺観光整備基本構想（つくば市）

れているのか、情報収集作業を進めた。これらの作業に加え我々独自に調査項目を決め、項目別に資源リストの作成を行った。

「つくば観光資源データベース」の作成は上記の中項目ごとに担当者を決めて、およそ100から150文字程度の説明文を作成し、複数の写真を添付する。またデータベースとして、住所、電話番号、ホームページ・アドレス、バス停、開園・閉園時間、休館・休業日、入園・入場料、駐車場（有料・無料）の有無（可能ならば駐車可能台数）、トイレの有無（バリアフリーになっていれば明記する）など10項目のデータを可能な限り掲載することにした。同じページには近隣にある観光資源の名称とそこへの交通手段も記載した。この近隣観光資源情報を入れることにより、この施設を訪れた訪問者は近隣の他の観光資源に向かうように促すことで、回遊性を高められるようにした。このデータベースは中国語、韓国語、英語に翻訳し、多言語化を進める予定である。

つくば市の観光施設、観光ポイントなどはすでに様々なパンフレットが市観光物産課などを中心に発行されているが、狭い地域別説

明であったり、一施設の説明だったり、専門的すぎたり、使い勝手が悪いものも多い。そこで我々はいつくば市内の全ての観光資源の一覧を作成し、必要最低限の情報を資源ごとに写真と一緒に整理することをマクロ的視点でまず進めた。第2段階ではエリア別など回遊性を考慮した型の観光案内書を実験的に作成する予定である。

5. 授業の問題点

本授業は毎年10-15名の学生が受講しているが、参加学生間に授業への熱意にばらつきがある。多くは積極的に授業に参加しているが、一部の学生はただ授業に出席しているだけで、授業に積極的に関わろうとしない学生もいる。すべての学生に動機付けをするのは難しいと感じている。地図や案内書を作成するために役割分担をした。具体的には、つくば市北条、神郡、小田それと古道のつくば道の資料調査グループを3つ作り、それぞれの代表者で全体のレイアウトやどの写真を使うかを決めて、作業を進める予定であったが、打ち合わせに欠席者が出て、決定できなかつ

表4 調査対象の分類は下記のように項目に分けた。

大項目	中項目	データベースに記載されている施設数
筑波山と山麓地区	①筑波山神社と筑波山 ②筑波山山麓	42
歴史地区	①つくば道と神郡 ②北条と小田地区	29
つくば新市街	①ショッピング・センター ②その他	7か所
文化施設	①図書館 ②美術館 ③民族・歴史資料館 ④公共文化施設 ⑤民間文化施設 ⑥大型公園	33カ所
研究施設	一般公開されている研究施設	16ヶ所

たり、計画した通り業務が進まないことがよくあった。その理由は指導教員である私の指示がよく学生に理解されなかったことも多いと思われる。私の考えていることを十分に説明したと思っても、学生には結果として伝わっていないことがよくある。

パソコンソフトを利用して地図を作成する際には複数の学生がパソコンで同時作成する際には同時に作業をするのではなく、一人の学生がすべてを行うことになるので、残りの学生は手持ち無沙汰になってしまう。パソコン主流の時代には全員平等主義を維持することが困難な状況も発生する。また今回はイラストレータを使用したがる、このソフトを使いこなせる学生がいなかったため、山本麻子先生（情報メディア学科）に指導していただき、このソフトを使用できるようにしたので、使用法が分からない他の学生はまったく作業の蚊帳の外に置かれてしまった。このような学生指導に関わる問題をどのように解決できるのか、筆者はまだ明確な解答を得ることは出来ていない。

6. 筑波山麓の観光事情

現在は筑波山が唯一の観光資源となっているが、奈良時代の役所跡である平沢官衙遺跡に代表されるように、山麓には筑波山の湧水で奈良時代から豊かな穀倉地帯として発達してきた歴史があり、さまざまな遺跡が散在している。これらの遺跡の所在地は記載されているが、観光客にも分かりやすい略史的な説明が不足しているため、わかりにくい説明になっていることも多い。

つくば市の歴史地区（北条・小田・神郡地区）の観光資源も調査したが、観光客を迎えるだけの十分なハードが準備されていない所が多いように思われる。例えばトイレも歴史地区の中心と思われる北条には週末に開館さ

れる「岩崎屋ふれあい館」が利用できるだけである。小田城跡には仮設トイレが準備されているが、周辺整理の土木工事中なので、誰でも利用できるトイレと判りにくい。筑波道の沿道約4kmには普門寺境内のトイレは利用可能となっているが、いわゆる公衆トイレの設備はない。何らかの施策が必要と思われる。また現在つくば市北部の歴史遺産の多い地区への交通網も十分とはいえない。つくばエクスプレスでつくば駅に着いて、そこから歴史地区への交通網は、市民の足と運行されているつくバスが1時間に2本運行されているだけである。歴史地区の中心地である北条に到着しても、そこからつくば市北部の北条・小田・神郡への交通網は十分とはいえない。北条・小田・神郡を巡回するバスが無いので、地域間移動は一旦「筑波庁舎」まで戻って再度バスで目的地を循環するバスに乗り換えなくては行けない。住民の足としての役割が目的なので、観光客が使いやすいようにはなっていない。各地区間の移動のための交通機関が十分でないことはウォーキング・ツアーを設定する上で難しい。

そうなるとうとうでも自家用車での移動が中心にならざるを得ない。道路網は整備されているが、駐車場は十分とはいえない。地域はのどかな田園地帯なので交通の邪魔や地域住民の方の迷惑にならなければ、短時間の駐車は事実上はどこでも可能ではあるが、これを案内書に文字で記すことは出来ない。

筑波山周辺の里山風景は四季を通して美しい自然風景を我々に提供してくれる。これらを楽しむにはウォーキング・ツアーがベストである。このウォーキング・ルートのハード面とソフト面の充実が今後の「つくばの観光」の進む道であろうと思われる。この面で私たちは今後も協力を進めたいと思っている。

資料 1

つくば観光資源リスト 2008年3月17日現在 (項目別分類)

ID	名前	カテゴリ	〒	住所
1	つくばりんりんロード	自転車ルート		土浦・岩瀬間40km
2	高崎自然の森	公園	300-1245	つくば市高崎1078-1
3	豊里ゆかりの森	公園	300-2633	つくば市遠東661
4	小貝川スポーツ公園	公園	300-2664	つくば市高良田455-1
5	中央公園	公園	305-0031	つくば市吾妻2-7-5 中央公園内
6	松見公園	公園	305-0035	つくば市天久保1-4
7	松代公園	公園	305-0035	つくば市松代3-2
8	二の宮公園	公園	305-0051	つくば市二ノ宮1-15
9	洞峰公園	公園	305-0051	つくば市二ノ宮2-20
10	赤塚公園	公園	305-0061	つくば市稲荷前11
11	かつらぎ公園	公園	305-0821	つくば市春日2-39-3
12	科学万博記念公園	公園	305-0841	つくば市御幸が丘6
13	羽成公園	公園	305-0856	つくば市観音台1-27
14	ゆかりの森	公園	300-2633	つくば市遠東661
15	つくば牡丹園	公共文化施設	300-1248	つくば市若栗500
16	荃崎公民館図書室	公共文化施設	300-1255	つくば市小荃318
17	こもれび六斗の森	公共文化施設	300-1258	つくば市六斗1002番地
18	間宮林蔵記念館	公共文化施設	300-2335	茨城県筑波郡伊奈町上平柳63-1
19	つくばねカントリークラブ	公共文化施設	300-4212	つくば市神郡2726
20	土浦射撃倶楽部筑波射撃場	公共文化施設	300-4221	つくば市大字大形2047
21	市民研修センター	公共文化施設	300-4231	つくば市北条1477-1
22	市民ホールつくばね	公共文化施設	300-4231	つくば市北条5060
23	筑波公民館図書室	公共文化施設	300-4231	つくば市北条5060
24	筑波スカイボウル	公共文化施設	300-4351	つくば市上大島寺田4
25	つくばボウル	公共文化施設	300-4353	つくば市沼田2380-2
26	筑波実験植物園	公共文化施設	305-0005	つくば市天久保4丁目1-1
27	農村自然休養村 ルーラル吉瀬	公共文化施設	305-0022	つくば市吉瀬1679-1
28	中央図書館	公共文化施設	305-0031	つくば市吾妻2-8
29	さくら交通公園	公共文化施設	305-0031	つくば市吾妻4-3-3
30	つくば市観光案内所	公共文化施設	305-0031	つくば市吾妻1-8-2 つくばターミナルビル内
31	つくばエキスポセンター	公共文化施設	305-0031	つくば市吾妻2-9
32	つくばカピオ	公共文化施設	305-0032	つくば市竹園1-10-1
33	水族館& レストラン つくし	公共文化施設	305-0043	つくば市大角豆2012-209
34	スポーレクライミングジム	公共文化施設	305-0063	つくば市下原370-1 つくばユーワールド2F
35	スポーレボール	公共文化施設	305-0063	つくば市下原370-1 つくばユーワールド2F
36	小野川公民館図書室	公共文化施設	305-0067	つくば市館野477-1
37	筑波ハム	公共文化施設	305-0813	つくば市下平塚383
38	市民ホールやたべ	公共文化施設	305-0861	つくば市谷田部4711
39	谷田部公民館図書室	公共文化施設	305-0861	つくば市谷田部4774-18
40	つくばリサーチギャラリー	公共文化施設	305-8517	つくば市観音台3-1-1
41	地質標本館	公共文化施設	305-8567	つくば市東1-1-1
42	つくばインフォメーションセンター	公共文化施設	305-9931	つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル
43	桜歴史民俗資料館	公共文化施設	305-0018	つくば市金田1658-1
44	矢田部郷土資料館	公共文化施設	305-0861	つくば市谷田部4774-18

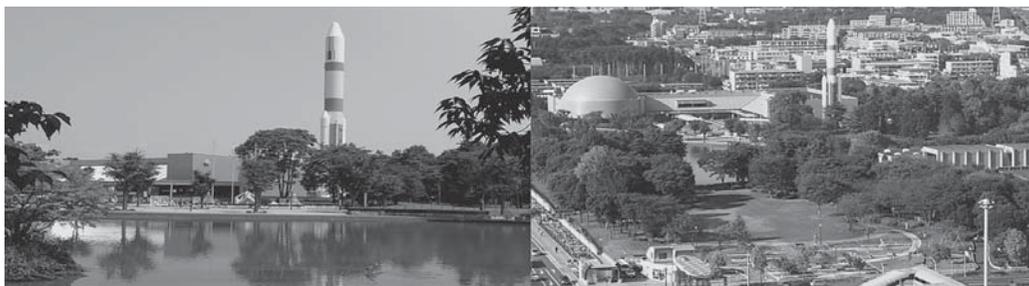
45	ノバホール	公共文化施設	305-0031	つくば市吾妻1-10-1
46	MGC21	公共文化施設	305-0034	つくば市小野崎88-19
47	クレオスクエア	新市街	305-0031	つくば市吾妻
48	筑波西武	新市街	305-0031	つくば市吾妻1-7-1
49	茨城県つくば美術館	新市街	305-0031	つくば市吾妻2-8
50	デイズタウンつくば	新市街	305-0032	つくば市竹園1-9-2
51	つくば You ワールド	新市街	305-0063	つくば市下原370-1
52	つくばショッピングセンター ASSE	新市街	305-0854	つくば市上横場2143
53	つくば文化会館アルス	新市街	305-9931	つくば市吾妻2-8
54	農村自然休養村 ルーラル吉瀬(きせ)	民間施設	305-0022	つくば市吉瀬1679-1
55	大塚家住宅	歴史と史跡	300-0001	つくば市栗原835
56	考学院	歴史と史跡	300-1245	つくば市高崎
57	念向寺	歴史と史跡	300-1249	つくば市若栗498
58	守徳寺	歴史と史跡	300-1273	つくば市下岩崎
59	正副寺	歴史と史跡	300-2617	つくば市吉沼1419
60	金村別雷神社	歴史と史跡	300-2645	つくば市上郷8320
61	永興寺	歴史と史跡	300-2665	つくば市高須賀21
62	千光寺	歴史と史跡	300-3253	つくば市大曾根446
63	西方寺	歴史と史跡	300-3255	つくば市玉取1959
64	一ノ矢八坂神社	歴史と史跡	300-3255	つくば市玉取2617
65	晋門寺	歴史と史跡	300-4212	つくば市神群970
66	蚕影神社(こかげ)	歴史と史跡	300-4212	つくば市神郡豊浦
67	平沢官衛遺跡	歴史と史跡	300-4213	つくば市平沢353
68	北条大池	歴史と史跡	300-4213	つくば市平沢353
69	鹿島神社	歴史と史跡	300-4221	つくば市大形1264-22
70	小田城跡	歴史と史跡	300-4223	つくば市小田2377
71	龍勝寺	歴史と史跡	300-4223	つくば市小田2774
72	貴船神社	歴史と史跡	300-4231	つくば市北条
73	無量院	歴史と史跡	300-4231	つくば市北条375
74	全宗寺	歴史と史跡	300-4231	つくば市北条381
75	慶竜寺	歴史と史跡	300-4235	つくば市泉2349
76	泉水育観音(慶竜寺)	歴史と史跡	300-4235	つくば市泉2348
77	大御堂	歴史と史跡	300-4352	つくば市筑波748
78	性山寺	歴史と史跡	300-4354	つくば市国松136-1
79	北斗寺	歴史と史跡	305-0001	つくば市栗原
80	慈恩寺	歴史と史跡	305-0012	つくば市中根530
81	証誠寺	歴史と史跡	305-0018	つくば市金田17-2
82	栄泉寺	歴史と史跡	305-0042	つくば市下広岡612
83	遍照院	歴史と史跡	305-0834	つくば市手代木964
84	明超寺	歴史と史跡	305-0861	つくば市谷田部2003
85	(独) 土木研究所	研究機関	300-2621	つくば市南原1番地6
86	(独) 国立科学博物館 つくば実験植物園	研究機関	305-0005	つくば市天久保4-1-1
87	(独) 防災科学技術研究所	研究機関	305-0006	つくば市天王台3-1
88	研究交流センター	研究機関	305-0032	つくば市竹園2-20-5
89	(独) 産業技術総合研究所 サイエンス・スクエアつくば	研究機関	305-0045	つくば市梅園1-1-1
90	(独) 産業技術総合研究所 地質標本館	研究機関	305-0045	つくば市梅園1-1-1
91	(独) 物質・材料研究機構	研究機関	305-0047	つくば市千現1-2-1
92	(独) 宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター	研究機関	305-0047	つくば市千現2-1-1

岩田隆一：つくば市の観光資源調査

93	高層気象台	研究機関	305-0052	つくば市長峰1-2
94	(独) 理化学研究所筑波研究所	研究機関	305-0074	つくば市高野台3-1-1
95	高エネルギー加速器研究機構	研究機関	305-0801	つくば市大穂1-1
96	(独) 教員研修センター	研究機関	305-0802	つくば市立原3
97	国土技術政策総合研究所	研究機関	305-0804	つくば市旭1
98	国土地理院 地図と測量の科学館	研究機関	305-0811	つくば市北郷1
99	(独) 医療基盤研究所 霊長類医学研究センター	研究機関	305-0843	つくば市八幡台1-1
100	森林総合研究所樹木園	研究機関	305-0903	つくば市松の里1
101	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 食と農の科学館	研究機関	305-8517	つくば市観音台3-1-1
102	筑波山ベゴニアガーデン	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1
103	筑波山猿劇場モンキーハウス	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1-2
104	つくば湯	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波64-9
105	筑波ふれあいの里	筑波山と山麓	300-4211	つくば市臼井2090-20
106	お食事処 あおき	筑波山と山麓	300-4252	つくば市筑波
107	宮脇駅売店	筑波山と山麓	300-4252	つくば市筑波
108	がま公園	筑波山と山麓	300-4352	つくば市沼田1688
109	いでむら	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
110	コマ展望台	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
110	つくば駅レンタサイクル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
112	つつじヶ丘ガーデンハウス	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
113	ひたち野コテージ	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
114	女体山パーラー	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
115	杉本屋	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
116	筑波温泉ホテル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
117	筑波山温泉つくば湯	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
118	筑波山観光センター	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
119	筑波山口レンタサイクル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
120	筑波山頂駅売店	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
121	筑波山梅林	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波
122	筑波山ケーブルカー	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1
123	筑波山ロープウェイ	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1
124	筑波山京成ホテル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1
125	つくばグランドホテル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1050-1
126	筑波山神社	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波1番地
127	ホテル一望	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波64-2
128	筑波山荘ユースホテル	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波692
129	村宝館	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波708
130	神田家	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波722
131	レストセンター筑波館	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波723
132	筑波山 江戸屋	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波728
133	筑波山大御堂	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波748
134	筑波山ホテル青木屋	筑波山と山麓	300-4352	つくば市筑波753-1
135	筑波山つつじヶ丘	筑波山と山麓	300-4352	
136	筑波山温泉街	筑波山と山麓	300-4352	
137	筑波山登山道・自然研究路	筑波山と山麓	300-4352	
138	つくばわんわんランド	筑波山と山麓	300-4353	つくば市沼田579
139	筑波高原キャンプ場	筑波山と山麓	300-4412	茨城県桜川市真壁町羽鳥1557

中央公園

つくばセンターの北側に広がる広大な公園。公園内にはエキスポセンター、図書館、美術館、さくら民家園、リサイクルセンターなど公共施設や鯉が優雅に泳ぐ大きな池も配置されている。



中央公園情報 (2008/1/29 調査)

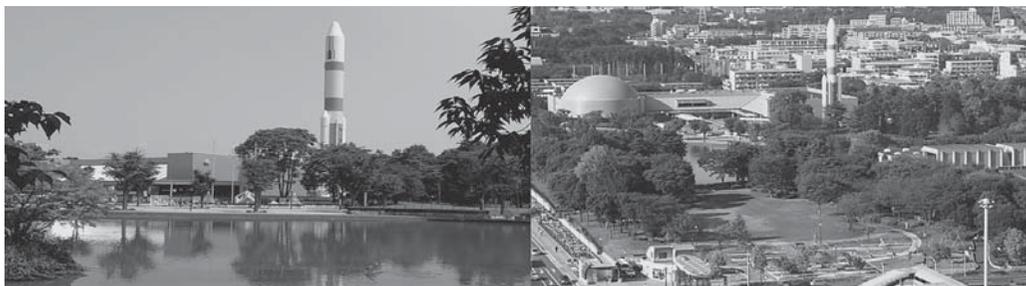
カテゴリー	新市街
住所	305-0031 つくば市吾妻2丁目
電話番号	029-851-3106
HP	
バス停	「つくばセンター」バスターミナル
開園、営業時間	公園は年間を通して開放されている。
休日	公園は年間を通して開放されている。
駐車場の有無	公園西側に市営駐車場がある。
トイレの有無	有り。バリアフリートイレもある。
入場料	無料
中央公園内にある主要な施設	中央公園内にある主要な施設 ①さくら民家園 (☎ 029-858-2798) ②エキスポセンター (☎ 029-858-1100) ③茨城県立美術館 (☎ 029-856-3711) ④つくば市中央図書館 (☎ 029-856-4311)

近隣情報

交通手段	施設名
徒歩 3分	つくばセンター (つくばエクスプレス バスセンター)
徒歩 3分	ショッピングセンター Qt
徒歩 3分	つくば市総合案内所 (つくばセンター地下)
徒歩 3分	西武百貨店+ジャスコ

The Chuo Koen (Park) 中央公園

The Chuo Koen (Park) is one of the most important parks in Tsukuba City. It is located just adjacent to the Tsukuba Transport Center in the north. In the park there are several popular cultural facilities: The Museum, EXPO Center, the Central Library and an old Japanese farm house for exhibition.



Data on the Site (as of January 29, 2008)

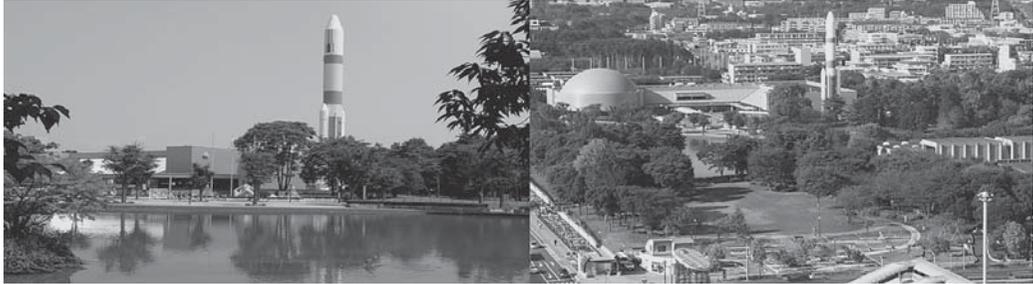
The name of the site	Chuo Koen Park 中央公園
Address	2-chome, Azuma, Tsukuba-shi 305-0031
Telephone	029-851-3106
Home Page	Not Available
Bus Stop	Just adjacent to the Tsukuba Bus Terminal
Operating hours	Open all the year around
Closed	Open all the year around
Car Parking	Large Public parking lot Available next to the park
Toilets	Available Barrier- free toilet also available
Admission Fee	Free
Others	Following sites are in the park: EXPO Center エキスポセンター (☎ 029-858-1100) Art Museum 茨城県立美術館 (☎ 029-856-3711) The Municipal Central Library つくば市中央図書館 (☎ 029-856-4311) old Japanese farm house さくら民家園 (☎ 029-858-2798)

Vicinity Information

Means	Sites
Three minutes on foot	つくばセンター Tsukuba Center
Three minutes on foot	Shopping Mall Qt
Three minutes on foot	つくば市観光案内所 Tsukuba Tourist Information

중앙공원 中央公園

츠크바 센터의 북측으로 퍼지는 츠크바시를 대표하는 넓은 공원. 공원내에는 엑스포 센터, 도서관, 미술관, 벚꽃 민가원, 리사이클 센터 등 공공시설과 잉어들이 자유롭게 헤엄치는 연못도 배치되어 있다.



중앙공원 주요정보 中央公園 主要情報 (2008/1/29)

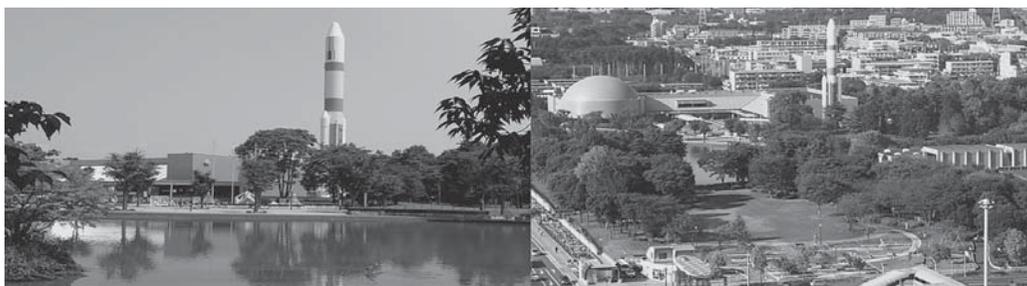
주소	305-0031 츠크바시 아즈마 2 번지
전화번호	029-851-3106
HP	
버스 정류장	
영업 시간	공원은 년간을 통해 개방되고 있습니다
휴일	공원은 년간을 통해 개방되고 있습니다.
주차장의 시설	시영 주차장이 있습니다
화장실의 시설	있습니다
입장료	무료
중앙공원내에 있는 주요한 시설	중앙공원내에 있는 주요한 시설 ① 벚꽃 민가원 ② 엑스포 센터 ③ 미술관 ④ 도서관

근린 정보 近隣情報

교통	시설
도보 3 분	츠크바센터
도보 3 분	쇼핑크센터 QP
도보 3 분	츠크바관광안내소

中央公园 中央公園

在筑波中心的北侧，坐落着大面积的筑波市代表性公园。公园内有博览会中心，图书馆，美术馆，樱花民家园，再利用中心等公共设施。



中央公园 主要情報（2008/1/29）

范畴	新市街
地址	305-0031 筑波市吾妻2丁目
电话号码	029-851-3106
HP	
公共汽车停	
开园，营业时间	自由开放式
休息日	自由开放式
停车场	附近有市营的停车场
洗手间	有、含身体障碍者专用洗手间
入场费	免费
在中央公园内的主要设施	在中央公园内的主要设施 ①樱花民家园（☎ 029-858-2798） ②博览会中心（Expo center）☎ 029-858-1100 ③美术馆（☎ 029-856-3711） ④图书馆（☎ 029-856-4311）

近邻情报

交通手段	设施名
步行3分	筑波 CENTER(筑波中心)
步行3分	购物中心 Q t
步行3分	筑波观光问询处